

早稲田大学 教育学部 地理 講評

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅰ	民族問題と地域紛争	最近の世界情勢(宗教・民族)からの出題である。日頃から新聞・ニュースなどに関心を持ち、国際面・政治経済面を読んでおくことが理解を深める。問4のパレスチナの正誤問題はやや難であった。	標準
Ⅱ	世界の貿易と地域的統合	Aイギリス、Bオーストラリア、C中国、Dメキシコの貿易や貿易協定からの出題である。主な地域的経済組織と経済圏の理解がなされていないと難であったと思う。また貿易統計はデータブックや世界国勢図会などを活用し特色を理解することが必要である。	標準
Ⅲ	南アメリカ4か国	南アメリカのペルー、アルゼンチン、ブラジル、ベネズエラからの出題である。問4のブラジルの日系人の人口以外は南アメリカの地誌を理解していれば難なく解けた問題である。	標準
Ⅳ	ヨーロッパ	ヨーロッパの産業を中心とした出題であった。問3の農産物の自給率はやや難であるが、コメの自給率の高いC・Dがイタリアとスペインとで絞れば後は肉類で判断できる。	標準

〔総合コメント〕

地誌中心の出題ではあるが、昨年から系統地理出題も多いため全分野にわたっての学習が必要である。また、時事的要素を含んだ出題もみられるため、日頃からのニュース・新聞に注意を要する。国々の位置関係、主要都市名とその特徴、農業・鉱業など産業・貿易品目など、様々な角度から出題されるので体系的によくまとめておくことが必要である。その際、最新統計資料や地図帳を活用すること。